

平成28年3月24日

学校関係者評価委員会報告

平成27年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

日時 平成28年3月24日(木) 13時～

場所 大川学園医療福祉専門学校会議室

1 学校関係者評価委員

- ① 土屋司朗 (飯能市下加治自治会長)
- ② 鈴木裕一郎 (芳友会長(同窓会))
- ③ 小林健一 (つつじの園施設長)
- ④ 新井 望 (さくら野整骨院長)
- ⑤ 柴田美郷 (みさと鍼灸院長)
- ⑥ 藤本 成 (大川学園高等学校長)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

別紙（議事進行順ではなく、書式に準拠）

I 重点目標について

1. 教職員、学生の健康・安全への意識向上。
健康・安全指導、安全点検等を実施。
2. 環境整備、学生満足度向上。
校内(敷地内)全面禁煙化を実施
3. 柔道整復師、鍼灸師国家試験現役合格率 100%。
国家試験対策講座、補習、個別指導を実施。
柔整100%鍼灸67%(自己採点結果による)
4. 学生募集定員の確保。
介護37名 柔整26名鍼灸15名 計78名
5. 職業実践専門課程認定準備。
来年度、介護福祉学科の申請準備
6. 介護職員実務者研修開講準備
申請済み。実施に向けて研修会へ参加
7. 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の開催。
7月に教育課程編成委員会、3月に学校関係者評価委員会を開催。
8. 地域社会貢献活動への参加。
地域イベントのボランティアへ学生教職員参加。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

2 学校運営

3 教育活動

土屋 委員

現在介護施設で働いているが、介護体験学習の時間を十分取って欲しい。

→今後とも、介護福祉学科においては介護実習指導の充実を図ってまいります。

4 学修成果

5 学生支援

小林 委員

退学者対策として、介護職員初任者研修を実施してみたいかがか。

→次年度(平成28年度)実施を予定している。

また、補習等の充実も図る予定である。

6 教育環境

7 学生の募集と受入れ

柴田 委員

鍼灸学科が募集停止になった理由は、

→近隣地域の鍼灸師の充足と共に本校における養成施設としての一定の役割を終えたと判断したため。

新井 委員

市内の国道 299 号線バイパスより南側は大川学園にどんな学科があるか知らない。小学生への認知度を上げてはどうだろうか。

次年度、双柳小学校運動会をはじめ近隣地域の活動には、協賛してはどうだろうか。

→昨年度より、エコクラブ飯能に協力している。(小学生の体験学習先として)
また、双柳地区運動会等の話があれば、積極的に協力していきたい。

8 財 務

小林 委員

私の勤務先では、職員や利用者の確保が難しくなっている。

そのため支出の削減に取り組んでいる。

光熱費等の見直しで、昨年度一千万円の削減ができた。

学校でも取り組んでほしい。

→日頃より経費削減には、学校をあげて取り組んでいるが、引き続き努力していきたい。

9 法令等の遵守

土屋 委員

事務局の経理・会計担当は一定の期間で異動がある方が望ましい。

→人事異動は、適材適所を踏まえ行っている。

10 社会貢献・地域貢献

土屋 委員

校庭は市の広域避難場所になっているが、一部でもよいので、校舎の利用も検討していただけないか。

→学生・生徒がいる場合は難しいと考えている。

鈴木 委員

現在の空き教室の活用は、

→現状では、全教室を使用している。

空いている時間に大川学園を知ってもらうために、貸し出しをしては、

→現在、飯能市と連携し、市民へ貸し出しをしている校舎もある。

同窓会として、経営セミナーを開きたいと思っている。

藤本 委員

ツーデーマーチや市内中学校教員対象柔道研修会の内容も入れてほしい。

→追記・反映させます。